

# 第34回 心身健康科学サイエンスカフェ

## わが国における臨床化学分析の Global Standardizationに向けた活動

—国際的な治験や治療プロトコルに通用する  
検査データを目指して—



山舘周恒  
人間総合科学大学・特任教授

平成29年5月12日(金) 18:00 - 20:00 / 開場 17:30

場所：人間総合科学大学 東京サテライト（御茶ノ水）

参加費： 500円

### 演者からひとこと

健康診断の血液検査の結果に一喜一憂されることはありませんか。

この血液検査、特に脂質や酵素などは、国内のどこで測定してもほぼ同一の値が得られ、その値は共通の基準範囲で判断されるようになってきました。しかし、日本独特の測定法も存在し、海外との共同研究や臨床試験（治験）に支障のある検査項目もあります。例えば、酵素のアルカリホスファターゼのわが国の測定法は血液型のB・O型のヒトが食後に測定すると高値傾向を示すため国際的な治験などでは通用しないのが現状です。また、中性脂肪の場合、海外ではトリ、ジ、モノの3種類のグリセライドとグリセロールを測り込む方法を用いていますが、日本ではグリセロールは消去して測定しています。このような課題を解決すべく進められている世界的なハーモナイゼーションの活動をお話し、さらに、病原微生物の同定にMALDI-TOF MS法が用いられるなど、最新の科学技術が使われている現状も紹介します。

人間総合科学大学  
東京サテライト  
(東京・御茶ノ水)

JR 御茶ノ水駅から  
●徒歩 4分

